

2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月13日

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9837 URL <http://www.morito.co.jp/hd/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一坪 隆紀
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 辻 誠 (TEL) 06-6252-3551
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 2020年8月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	21,198	△5.4	412	△45.5	401	△47.3	154	△70.5
2019年11月期第2四半期	22,402	7.1	757	△4.5	762	0.4	522	△6.9

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △261百万円(-%) 2019年11月期第2四半期 △250百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	5.64	—
2019年11月期第2四半期	19.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	43,822	31,994	72.9
2019年11月期	47,185	32,725	69.2

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 31,941百万円 2019年11月期 32,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年11月期	—	13.25			
2020年11月期(予想)			—	4.75	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	△13.0	600	△65.4	600	△66.3	300	△78.6	10.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期2Q	30,800,000株	2019年11月期	30,800,000株
② 期末自己株式数	2020年11月期2Q	3,420,060株	2019年11月期	3,420,060株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期2Q	27,379,940株	2019年11月期2Q	27,452,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また当社及び当社の一部のグループ会社は、「株式給付信託(J-E S O P)」及び「役員報酬B I P信託」を導入しており、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)と日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口)がそれぞれ所有する当社株式については、自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(追加情報)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年5月31日)におけるわが国経済は、期間の前半は雇用環境や所得環境などは緩やかな回復基調にありましたが、期間の後半は新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、景気が急速に後退するなど厳しい状況となりました。同時に、世界経済の悪化も進んでおり、先行きに対する不透明感が極めて高い状況で推移しております。

このような状況の中、主に服飾資材と生活産業資材を扱う当社グループにおきましては、『存在価値を創造する、あたらしい「モリトグループ」の実現』を経営ビジョンとした「第8次中期経営計画(2020年11月期から2024年11月期の5年間)」を推進し、商品が持つ付加価値に留まらないモリトグループとしての新しい存在価値を創造し、継続的な事業成長を目指しております。しかしながら、当第2四半期連結累計期間におきましては、服飾資材関連では、昨年の暖冬による影響に加え、百貨店や量販店が新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として営業自粛を行った影響を、また、生活産業資材関連では、国内外の自動車関連の工場が一定期間休業したことによる影響を受けるなど非常に厳しい状況となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高211億9千8百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益4億1千2百万円(前年同期比45.5%減)、経常利益4億1百万円(前年同期比47.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億5千4百万円(前年同期比70.5%減)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における、海外子会社の連結財務諸表作成に係る収益及び費用の換算に用いた為替レートは、次のとおりです。

	第1四半期	第2四半期
米ドル	108.76 (112.91)	108.87 (110.23)
ユーロ	120.32 (128.82)	120.09 (125.16)
中国元	15.44 (16.32)	15.59 (16.33)
香港ドル	13.90 (14.42)	14.01 (14.05)
台湾ドル	3.57 (3.66)	3.62 (3.58)
ベトナムドン	0.0047 (0.0048)	0.0047 (0.0047)
タイバーツ	3.59 (3.44)	3.48 (3.49)
メキシコペソ	5.65 (5.70)	5.49 (5.74)

(注) 1 ()内は前年同期の換算レートです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

服飾資材関連では、鞆向け付属品の売上高は増加しましたが、カジュアルウェア・ワーキングウェア・紳士重衣料向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、建築現場向け安全関連付属品、厨房機器レンタル・販売・清掃事業の売上高は増加しましたが、靴回り関連製品、自動車内装部品の売上高が減少しました。

その結果、売上高は149億6千4百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

(アジア)

服飾資材関連では、上海での日系アパレルメーカー向け付属品及び香港での欧米アパレルメーカー向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、タイでの映像機器向け付属品の売上高は減少しましたが、上海での日系自動車メーカー向けの自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は35億9千8百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

(欧米)

服飾資材関連では、欧米でのアパレルメーカー向け付属品の売上高が減少しました。

生活産業資材関連では、欧米での日系自動車メーカー向けの自動車内装部品の売上高が増加しました。

その結果、売上高は26億3千5百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、当初予想を下回る見込みとなりました。詳細につきましては本日（2020年7月13日）公表いたしました「2020年11月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,716,355	9,273,794
受取手形及び売掛金	11,773,061	9,859,271
たな卸資産	5,083,679	5,460,001
その他	1,115,458	596,641
貸倒引当金	△30,645	△28,201
流動資産合計	27,657,908	25,161,508
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,074,904	4,075,383
その他(純額)	5,735,985	5,850,444
有形固定資産合計	9,810,890	9,925,827
無形固定資産		
のれん	2,839,168	2,736,975
その他	1,154,248	1,118,506
無形固定資産合計	3,993,417	3,855,481
投資その他の資産		
投資有価証券	4,396,289	3,638,748
退職給付に係る資産	268,300	265,578
その他	1,120,508	1,038,790
貸倒引当金	△67,253	△67,269
投資その他の資産合計	5,717,844	4,875,848
固定資産合計	19,522,152	18,657,158
繰延資産	5,601	3,501
資産合計	47,185,662	43,822,168
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,859,108	3,857,065
短期借入金	50,000	50,000
1年内償還予定の社債	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	506,666	553,334
未払法人税等	441,253	241,917
賞与引当金	229,983	168,188
役員賞与引当金	71,595	25,306
その他	2,333,488	1,540,270
流動負債合計	8,892,095	6,836,081
固定負債		
社債	200,000	—
長期借入金	2,674,590	2,362,922
株式給付引当金	31,824	38,948
役員退職慰労引当金	57,249	64,174
役員株式給付引当金	56,428	65,013
環境対策引当金	19,360	19,516
退職給付に係る負債	892,694	882,202
その他	1,635,921	1,558,969
固定負債合計	5,568,069	4,991,746
負債合計	14,460,164	11,827,828

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,532,492	3,532,492
資本剰余金	3,503,243	3,507,603
利益剰余金	26,072,687	25,760,288
自己株式	△2,222,696	△2,227,056
株主資本合計	30,885,726	30,573,326
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,185,435	689,964
繰延ヘッジ損益	946	1,731
土地再評価差額金	451,115	451,115
為替換算調整勘定	170,300	246,176
退職給付に係る調整累計額	△25,723	△20,977
その他の包括利益累計額合計	1,782,074	1,368,010
新株予約権	57,697	57,277
非支配株主持分	—	△4,274
純資産合計	32,725,498	31,994,340
負債純資産合計	47,185,662	43,822,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	22,402,663	21,198,721
売上原価	16,326,564	15,701,304
売上総利益	6,076,098	5,497,416
販売費及び一般管理費	5,318,329	5,084,570
営業利益	757,768	412,846
営業外収益		
受取利息	12,862	8,081
受取配当金	32,431	37,314
不動産賃貸料	24,267	34,007
持分法による投資利益	33,113	24,792
その他	29,817	35,885
営業外収益合計	132,493	140,082
営業外費用		
支払利息	4,090	7,485
売上割引	41,043	37,552
為替差損	29,670	50,851
その他	53,157	55,483
営業外費用合計	127,961	151,372
経常利益	762,300	401,556
特別利益		
固定資産売却益	29	408
投資有価証券売却益	81,849	—
新株予約権戻入益	210	420
特別利益合計	82,089	828
特別損失		
固定資産除却損	3,867	2,246
投資有価証券売却損	415	—
ゴルフ会員権売却損	—	1,080
投資有価証券評価損	—	10,663
ゴルフ会員権評価損	—	5,374
事業再編損	2,948	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	26,144
特別損失合計	7,231	45,508
税金等調整前四半期純利益	837,158	356,876
法人税、住民税及び事業税	368,248	265,141
法人税等調整額	△54,013	△60,899
法人税等合計	314,234	204,241
四半期純利益	522,923	152,635
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,789
親会社株主に帰属する四半期純利益	522,923	154,424

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	522,923	152,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△539,108	△495,470
繰延ヘッジ損益	△193	781
為替換算調整勘定	△246,924	75,876
退職給付に係る調整額	12,647	4,745
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	△773,578	△414,064
四半期包括利益	△250,654	△261,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△250,654	△259,639
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	837,158	356,876
減価償却費	415,195	492,086
のれん償却額	121,327	119,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56,857	△62,728
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	14,128	3,177
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,990	△4,107
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,216	6,925
株式給付引当金の増減額(△は減少)	8,154	7,123
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△25,507	8,584
貸倒引当金の増減額(△は減少)	750	△2,667
受取利息及び受取配当金	△45,294	△45,396
支払利息	4,090	7,485
持分法による投資損益(△は益)	△33,113	△24,792
新株予約権戻入益	△210	△420
固定資産売却損益(△は益)	△29	△408
投資有価証券売却損益(△は益)	△81,434	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	—	1,080
投資有価証券評価損益(△は益)	—	10,663
固定資産除却損	3,867	2,246
事業再編損	2,948	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	26,144
売上債権の増減額(△は増加)	600,306	1,933,278
たな卸資産の増減額(△は増加)	△307,784	△357,055
仕入債務の増減額(△は減少)	196,371	△1,014,064
その他	107,160	△439,068
小計	1,761,455	1,024,463
利息及び配当金の受取額	47,047	45,395
利息の支払額	△4,300	△7,379
法人税等の支払額	△42,844	△478,066
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,761,358	584,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22,558	—
定期預金の払戻による収入	4,798	215,497
投資有価証券の取得による支出	△14,135	△17,185
投資有価証券の売却による収入	106,888	—
有形固定資産の取得による支出	△637,249	△127,730
有形固定資産の売却による収入	1,013	3,570
無形固定資産の取得による支出	△184,699	△36,543
貸付けによる支出	△3,000	—
貸付金の回収による収入	13,192	3,600
その他	△7,480	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△743,230	41,033

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△100,000	—
リース債務の返済による支出	△30,080	△26,355
リース負債の返済による支出	—	△73,585
長期借入金の返済による支出	△851,951	△265,000
社債の償還による支出	△200,000	△200,000
自己株式の取得による支出	△151,148	—
ストックオプションの行使による収入	12,368	—
配当金の支払額	△350,753	△362,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,671,564	△927,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49,298	28,774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△702,735	△273,314
現金及び現金同等物の期首残高	8,525,759	9,442,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,021	32,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,855,044	9,201,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、借手は原則としてすべてのリースを資産及び負債として認識しております。当該会計基準の適用については、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響拡大による会計上の見積りに与える影響)

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大の影響により、景気が急速に減速し、先行き不透明な状況であります。

このような状況の中、主に服飾資材と生活産業資材を扱う当社グループにおきましては、販売拠点、生産拠点ともに、感染防止対策を講じ、テレワークなどのニューノーマル（新常态）における新たな働き方を取り入れ、事業を継続しております。現時点では業績に与える影響に不確定な要素が多く、合理的に業績予想を算出することが難しい状況にあるものの、日本、アジア、欧米の各セグメントにおいて、急激な景気悪化の影響を考慮し、下記の想定に基づき、将来キャッシュ・フローを見積り、当第2四半期連結累計期間における固定資産（のれんを含む）に対する減損会計の適用に関する会計上の見積りを行っております。

日本におきましては、各種メーカーによる生産調整など、今期中は厳しい状況が続くことが見込まれます。概ね今期の終盤から緩やかに回復しはじめ、来期中盤以降には前年並みに回復するものと想定しております。

アジアにおきましては、日本と同様に厳しい想定しておりますが、自動車内装部品においては、回復傾向にあり、来期中盤には前年並みに回復すると想定しております。

欧米におきましては、特に北米、中南米において、依然として新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、今期中の回復は難しく、来期中盤から徐々に回復し、来期の終盤以降、前年並みに回復すると想定をしております。

なお、当社がターゲットとする業界が多岐に渡るため、景気悪化の影響、回復時期を一律に想定することは困難ではありますが、上記のとおりセグメントごとの想定をしております。

また、四半期報告書作成時点においては、入手可能な情報によって見積りを行っておりますが、今後、想定した回復見込み推移と実際の推移とに差異が生じた場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,427,985	3,088,046	2,886,631	22,402,663	—	22,402,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,226,164	1,515,961	11,741	2,753,866	△2,753,866	—
計	17,654,149	4,604,007	2,898,372	25,156,530	△2,753,866	22,402,663
セグメント利益	709,308	225,300	14,777	949,386	△191,618	757,768

(注) 1 セグメント利益の調整額△191,618千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△167,751千円、その他△23,867千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,964,133	3,598,624	2,635,963	21,198,721	—	21,198,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	671,139	1,172,818	29,468	1,873,426	△1,873,426	—
計	15,635,272	4,771,443	2,665,432	23,072,148	△1,873,426	21,198,721
セグメント利益又は損失(△)	389,481	147,457	△30,633	506,305	△93,459	412,846

(注) 1 セグメント利益の調整額△93,459千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△103,425千円、その他9,965千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。